

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
政 策 目 標 3 やさしい心で支え合い、健やかに暮らせるまちに
重 点 的 取 組 1 人権を尊重し、一人一人の存在が認め合える環境を整える

担当課名		自治振興部 人権・男女共同推進課
予算 科目 目	会計	01 一般会計
	款	03 民生費
	項	01 社会福祉費
	目	07 人権推進費

事業名	人権啓発推進事業	事業開始年度	平成 19 年度
		根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市人権教育・人権啓発 指針

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	市民がすべての人権問題の解決を自らの課題としてとらえ、差別意識の解決と差別根絶のため実践行動を起こしていくことができるように啓発事業を推進する。 人権を尊重し、一人一人の存在が認め合える環境を整える。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
市	人権強調月間における広報・宣伝活動、人権作品の募集・表彰、補助金の交付、研修会の実施、市広報紙への記事掲載、人権の花運動	廿日市人権擁護委員協議会 廿日市市人権啓発推進協議会連合会 人権問題啓発活動推進者の会	人権啓発活動の推進

3 平成 27 年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容

○人権強調月間

人権強調月間の認知度が40%になるよう、広報や街頭宣伝活動をはじめ、啓発グッズの配布を行う。

○人権作品募集

小・中学生をはじめ、市民から、標語・作文・詩・ポスター・写真の人権作品を募集し、表彰や展示を行う。

○廿日市市人権啓発推進協議会連合会(以下「人権連」という)への補助

人権連に補助金を交付し、地域・地区人権啓発推進協議会と連携を図りながら、講演会、映画会
市民学習懇談会などを実施し、人権啓発事業の一層の推進を図る。

○広島県西部人権問題啓発活動推進者の会(以下「推進者の会」という)への支援

推進者の会の活動支援を目的として、研修費などの助成を行う。

○広報紙(人権問題シリーズ)への記事掲載

人権問題に精通した市民による広報編集委員会を年5回開催し、3記事を作成すると共に市広報に掲載する。

○人権の花運動

人権擁護委員と協力し、全小学校の児童を対象に、ヒヤシンス等の球根を配布する。

【歳入】

・人権啓発活動地方委託金

114 千円

【歳出】

4,379 千円

・人権強調月間

237 千円

〔啓発用品等〕

・人権作品募集

439 千円

〔選考委員謝金・賞品・参加賞等〕

・人権連への補助

3,151 千円

〔人権啓発推進協議会連合会補助〕

・推進者の会への補助

131 千円

〔講師謝金等〕

・広報編集委員会の開催

94 千円

〔委員謝金等〕

・人権の花運動

244 千円

〔球根・ポット・シール等〕

・その他

83 千円

〔職員研修旅費等〕

コスト情報(円)

項 目		平成 25 年度決算	平成 26 年度予算	平成 27 年度予算	
財源内訳	直接事業費 A	4,218,309	4,476,000	4,379,000	
	国庫支出金				
	県支出金	96,000	96,000	114,000	
	借入金(市債)				
	その他(使用料など)				
市(市税など)		4,122,309	4,380,000	4,265,000	
人件費(按分) B		0.79 人 6,703,940	0.79 人 6,723,690	0.79 人 6,832,710	
総事業費(A+B)		10,922,249	11,199,690	11,211,710	
単位換算コスト	① 人口(4月1日現在)	117,680 人	117,680 人	117,182 人	
	市民1人当たり	93	95	96	
	②				

到達目標

活動及び成果指標		単位	H25実績値	H26目標値	H27目標値	備考
活動成果	啓発グッズを配布し、啓発する	部	21,800	10,000	10,000	10,000
	広報編集委員会での原稿検討、記事掲載		3記事	3記事	3記事	3記事
	強調月間の認知度	%	一	40	40	40